

平成 22 年 5 月 25 日現在

研究種目：基盤研究（B）  
研究期間：2007～2010  
課題番号：19320127  
研究課題名（和文） 空中写真を用いた湮滅古墳の復元的研究  
研究課題名（英文） Research into Restoration of Destructed Ancient Tombs (Kofun) Used by Aerophotographs  
研究代表者  
澤田 秀実 (SAWADA HIDEMI)  
くらしき作陽大学・食文化学部・准教授  
研究者番号：40264577

研究代表者の専門分野：日本考古学

科研費の分科・細目：考古学

キーワード：データベース / 古墳時代政治史 / 墳丘形態の復元 / 測量調査 / 湮滅古墳 / 空中写真 / 首長墓系列の復元

### 1. 研究計画の概要

急速な経済成長に伴う国土開発は多くの遺跡をなきものとし、埋蔵文化財保護システムの確立以前には記録の無いままに損傷、湮滅していった古墳も少なくない。あるいは調査が実施された古墳でも埋葬施設の解明に力点が置かれ、墳丘に関して今日的な資料精度を保つものがなく、墳丘形態の比較研究に支障をきたしている。本研究はこのような資料不在の状況を打破し、再検討の可能性を確保するために、湮滅する前に残された記録のうち、1945年より列島各地を撮り続けている空中写真を用いて前方後円墳築造企画の復元を以下の点を踏まえて目指している。

- (1) 湮滅古墳のデータベース作成。
- (2) 湮滅古墳の撮影された空中写真の検索、データベース作成。
- (3) 空中写真の収集。
- (4) 空中写真の実体観察、湮滅古墳の墳丘形態の復元、図化。図化方法の確立。
- (5) 復元、図化した資料の精度確認（現存する古墳での空中写真による復元等高線図と現地での測量調査による測量図との比較によるチェック）。
- (6) 湮滅古墳の網羅的な図化。
- (7) 図化資料の考古学的検討（首長墓系列の再検討）。

### 2. 研究の進捗状況

具体的な作業として、上記の(1)(2)(3)と(5)の現存する古墳の測量調査を2007～09年度までに大半を終え、補足作業に入っている。(4)は2007・08年度に実体鏡を用

いた肉眼観察で撮影状況を把握し、収集資料の約35%が観察可能であることを確認した。09年度からはこのうち図化可能なものについて解析図化ソフトをもちいて試行的に解析図化を開始し、測量調査した古墳の測量図と照合し一定の精度確保を確認した。ただし、コンピュータソフトによる網羅的な解析、図化にあっては図化精度を保証する高精度な基準点（国土座標、水準点）の確保に地域的な差があることが判明し、その対応策をあらたに講じる必要が生じた。

### 3. 現在までの達成度

③おおむね順調に進展している。

湮滅古墳とそれに関わる空中写真の収集、データベース化など基礎的な作業は概ね当初計画を達成した。精度チェックのために予定した現存古墳の測量調査を2009年度までに終えており、現地調査は当初計画を達成した。また空中写真の解析図化作業に関しては、2009年度にずれ込んだがコンピュータを用いての高精度解析、図化方法の確立に見通しを得た。

したがって当初計画のうち(1)～(5)に関しては概ね達成されている。また(6)に関してもやや遅れているものの最終年度には達成の見込みである。(7)についても09年度の解析、図化成果から一定の見通しを得ている。

### 4. 今後の研究の推進方策

今後はデータベースなど基礎的な作業の補足をおこないつつ、(6)湮滅古墳の網羅的

な図化を基準点の確保など条件の整ったものから作業を進め、限定された地域となるが最終的な目的である(7)首長墓系列の復元の再検討を目指す。ただし、高精度図化を保証する基準点(国土座標、水準点)の確保については現在保有する機器類や経費では対応できず、GPS や電子地図などの利用機会を改めて確保し、研究を進めていく必要がある。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計3件)

- ①澤田秀実 「吉備の首長墓系列-美作地方を中心に-」『中四研だより』第22号 中国四国前方後円墳研究会(1-2頁)(2008年9月)
- ②澤田秀実 「吉備北部における古墳時代前期の画期-美作を中心に-」『中四研だより』第23号 中国四国前方後円墳研究会(9-10頁)(2009年2月)
- ③澤田秀実・持田大輔・白石 純 「津山市油木北 殿田1号墳の研究」『研究紀要』第42巻第2号 くらしき作陽大学・作陽短期大学(25-62頁)(2009年12月)

[学会発表] (計4件)

- ①澤田秀実 「古墳時代前半期の政治構造」メトロポリタン史学会 第2回研究発表会(於 首都大学東京)(2007年7月14日)
- ②澤田秀実 「吉備の前方後円墳」岡山県立吉備路郷土館歴史講座(2009年10月18日)
- ③澤田秀実 「美作地方の首長墓系列」考古学研究会 岡山例会(於 岡山大学)(2010年7月10日)(予定)
- ④澤田秀実 「前方後円墳から見た古代国家形成過程」メトロポリタン史学会 2010年度秋季シンポジウム 東アジアにおける古代国家の形成(於 首都大学東京)(2010年11月20日)(予定)

[図書] (計1件)

- ①澤田秀実 「首長墳の出現とその系譜」『図説 美作の歴史』郷土出版社(38-39頁)(2008年3月)

[産業財産権]

○出願状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

[その他]

野外調査

- ①山形県鶴岡市菱津古墳の实地踏査(2007年8月)
- ②岡山県津山市殿田1号墳の測量、発掘調査(2007年8-9月)
- ③岡山県勝央町植月寺山古墳の測量調査(2008年8月)
- ④岡山県津山市岡5号墳(岡大塚古墳)、鴻ノ池2号墳の測量調査(2009年3月)
- ⑤岡山県岡山市犬島古墳の測量調査(2009年9月)
- ⑥岡山県美作市河合古墳の測量調査(2010年2月)

新聞報道

- ①植月寺山古墳の測量調査に関するもの  
2008年8月28日 山陽新聞  
2008年8月29日 山陽新聞
- ②犬島古墳の調査に関するもの  
2009年9月20日 山陽新聞
- ③河合古墳の測量調査に関するもの  
2010年3月3日 読売新聞